

令和6年度 公共事業評価委員会 「審議資料2（再評価 No.1～10） 審議資料4（事後評価 No.11,12）」 修正概要一覧

整理番号	対象事業	頁	該当箇所	審議時の意見・質問（趣旨）	種別	修正概要
1	全てに共通	P5	1. 事業の必要性に関する視点 1) 事業を巡る社会経済情勢 イ) 地元の意識	タイトルの「地元の意識」という表現は、「地元の意向」の方が適している。	修正	タイトルを、「地元の意識」から「地元の意向」に修正。
2	No.1 県道42号藤沢座間厚木 (座間荻野線Ⅱ期) 道路改良事業	P4	5. 事業実施にあたって 配慮した項目	歩道橋のみでなく横断歩道も設置すること、職員室から見える位置に横断歩道橋と校門を設置することは、非常に価値あることだと思うので、本文にも追記した方がよい。	追記	横断歩道も設置すること、職員室から見える位置に横断歩道橋、校門を設置することを本文に追記。
3		P4	5. 事業実施にあたって 配慮した項目	横断歩道のある信号交差点を設置することを図中に表現した方がよい。	追記	横断歩道のある信号交差点を図中に追記。
4	No.2 都市計画道路 安浦下浦線 街路整備事業	P4	5. 事業実施にあたって 配慮した項目	埋設管の移設において、段階的な施工を行うことや、工期短縮のために工夫している点について、記載をした方がよい。	追記	詳細平面図②において、施行のイメージ図を修正し、埋設管の移設工事の分割や、各占用企業者との工期短縮に向けた調整について追記。
5		P6	総合的な効果	本路線の整備によって、起伏のある現道が平坦になる旨の記載をした方がよい。	追記	「ウ）安全・安心・利便性」にて、道路の高さが約2m低くなり、よりなだらかになる旨を追記。
6		P7	2. 事業の進捗の見込みの視点 1) 事業の進捗状況	前回再評価時から計画交通量が増加した要因について、バックデータを用いて記載した方がよい。	追記	表の下に記載している「変化した理由」に、計画交通量の増加要因（道路交通センサスの最新データを適用）を追記。
7		P7	2. 事業の進捗の見込みの視点 2) これまでの課題に対する取り組み状況	前回再評価時からの5年間で、どのような課題があり、どう取り組んできたのか、今後どういう見込みになるのか、という内容を記載した方がよい。	修正	自立式擁壁の補強工に起因した追加の用地買収について、標記を修正。
8	No.3 都市計画道路 湘南新道 街路整備事業	P6	総合的な効果	災害時の避難路として利用できるというのは地震時を対象としていると思われるので、それを明記する必要がある。	追記	「地震災害等が発生した際には、」を追記。
9	河川事業共通	P7 No.4 蓼川 No.5 引地川 No.6 恩田川 P8 No.7 柏尾川 No.8 境川 (上流) No.9 境川 (相模原)	1. 事業の投資効果 2) 事業の投資効果等	費用対効果と総合的な効果が参考となっているが、参考になっているのは、費用対効果のところなので、修正した方がよい。	修正	評価対象区間の費用対効果のみを【参考】として表記を修正した。
10		P8 No.4 蓼川 No.5 引地川 No.6 恩田川 P10 No.7 柏尾川 P9 No.8 境川 (上流) No.9 境川 (相模原)	2. 事業の進捗の見込みの視点 1) 事業の進捗状況	事業の進捗で、前回から今回までに一体何が進んだのかが分からない。数字は分かるのだが、どこで何をやって、結局どういう苦労があってまだ終わらないのか、そういうことを資料の中にも入れていただけると、いわゆる再評価という観点での審議をしやすい。	追記	<ul style="list-style-type: none"> 事業の進捗状況の表に、進捗状況の指標として進捗率を記載していたが、率に加えて、前回評価から今回までに実施した主要工種についても追記。 表の下に記載している、前回評価時から変化した理由のところ、延伸理由に具体的な橋梁名を追記し、現時点の難航箇所が分かるよう修正。

整理番号	対象事業	頁	該当箇所	審議時の意見・質問（趣旨）	種別	修正概要
11	河川事業共通	P2	1. 概要 3) 評価対象事業の位置づけ	年超過確率について、専門家ではなくても理解できるような解説みたいなものもその下に書いておくとか、丁寧に書くようお願いしたい。	追記	年超過確率の解説について追記。
12	No. 6 一級河川恩田川 河川改修事業	P3	5. 事業実施にあたって 配慮した項目	事業実施に当たって配慮した項目のところで、親水性に配慮したと書いてあるが、下の右側の写真を見ると、階段はあるけれど水に近づけるような状況ではない。	修正	親水性が確認できる適切な写真に修正。
13	No. 10 秦野戸川公園 都市公園事業	P2	2) 評価対象事業の概要	丹沢山麓の里山的な環境という話がある一方で、スポーツ施設的なものがあり、コンセプトがよく分からない。	修正	「2) 評価対象事業の概要」ア) を修正し、ウ) に公園のコンセプトを見直して事業を進めていくことを追記。
14		P3, 7	事業の進捗状況	事業目標が変わったということ（事業エリアは変わらないが中身が変わってコストが増えたこと）を、変化を入れた形で資料としてまとめていただきたい。	追記	「1) 経緯」に前回再評価時の事業の考え方（未整備区域の取扱い）を追記。
15					追記	1) 事業の進捗状況の表中、進捗率の下段に未整備区域の取扱を追記。
16		P6	総合的な効果	対応方針で防災について「相応の事業効果を発揮」と記載するのであれば、総合的な効果に、防災に関する記述をすべき。 大きな災害が起こることを見据えて拠点機能を見込んでいると思うので、その背景（どのような効果なのか）も追記いただきたい。	追記	「2) 事業の投資効果等 総合的な効果」に「オ) 災害時の活動拠点としての活用」を追記。
17		P8	対応方針	公園のコンセプトをより明確にした上で、この効果（総合的な効果）に繋がるような打ち出し方をしたほうが良い。 防災については、効果が期待できる、といった理性的な表現とすべき。	修正	「2) 評価対象事業の概要」ア) を修正し、ウ) に見直し後の公園のコンセプトを追記。
	修正				対応方針（案）を修正。	
18	No. 11 都市計画道路腰越大船線 （大船立体）街路整備事業	P3	5. 事業実施にあたって 配慮した項目	景観への配慮など、事業実施にあたり創意工夫したことがあるのであれば、記載した方がよい。	追記	事業実施にあたって行った、景観的な配慮を追記。
19		P5	1. 事業の投資効果 2) 総合的な効果 ウ) 安全・安心・利便性	自転車がどこを走っているのかわからないので、分かるように修正した方がよい。	追記	自転車が歩道を走行していることがわかる写真を追加。
20		P6	1. 事業の投資効果 2) 総合的な効果 オ) 景観	景観については様々な工夫がされているので、もっと工夫した内容を記載した方がよい。また、その内容を説明する写真が良くないので、差し替えた方がよい。	追記 修正	景観的に工夫した具体的な内容を追記するとともに、写真を差し替え。
21		P6	1. 事業の投資効果 2) 総合的な効果 カ) その他	事業実施にあたり創意工夫したことがあるのであれば、記載した方がよい。	追記	地元説明会では、模型を使って完成型のイメージを地元の方々と共有し、合意形成を図ったことについて追記。

整理番号	対象事業	頁	該当箇所	審議時の意見・質問（趣旨）	種別	修正概要
22	No. 11 都市計画道路腰越大船線 (大船立体) 街路整備事業	P7	1. 事業の投資効果 4) 事業の効果の発現状況	渋滞緩和の効果について、本路線に並行した道路の交通量を使って説明しているが、表現が間接的でわかりづらいので、端的な表現に修正した方がよい。 どこの渋滞箇所がなくなったのか、分かるように修正した方がよい。	追記 修正	道路が整備されたことにより平均旅行速度が向上し、また交差点が改良されたことに伴い、交差点の処理能力等が向上したことを示す、文章とグラフを追加。 渋滞が緩和された交差点がわかるよう、図を追加するとともに文章を修正。
23		P8	2. その他 1) 事業実施による環境の変化	人身交通事故について、どのような効果で減少したのか、理由が書かれていないため、丁寧に説明した方がよい。	追記	人身交通事故が減少した理由がわかるように、説明する文章を追記。
24		P8	本事業により得られたレッスン	普通ではできないような景観的な配慮をしているので、次の事業にも繋がるように、レッスンに記載した方がよい。	追記	本事業では、地元の方々の理解が得られるよう、様々な工夫をしながら取り組んだため、その内容をレッスンに追記。
25	No. 12 東高根森林公園 都市公園整備事業	P3	2. 事業の経緯や必要性	(質問) 古代の遺跡の時代はいつか。	修正	「2) 必要性 ア)」の記載を修正。
26		P4	5. 事業実施にあたって配慮した項目	(質問) どのようなNPO団体等と、どのような連携をしているのか。 (質問) 来園者にその歴史性をどう伝え、案内をしているのか。	修正	「1) 歴史・自然資源の保存と活用の場の提供」の記載を修正(NPOとの連携内容を補足)。
27				総合的な効果でいきなり「防災」ではなく、本来の効果のところにも書いた方がよい。	修正	「3) 災害発生時の対応機能の向上」を修正(防災機能の向上にかかる整備内容を補足)。
28		P6	1. 事業の投資効果 2) 総合的な効果	住民によるボランティア団体の組織化と整備を連動して進めたことについて、住民が主体的に活動をしていること自体が整備効果と思われるので、そういった自主的な活動について、レッスンだけではなく、前段で効果の部分にも書き込むべき。	修正	「ア) 防災」を修正(災害発生時の対応機能の向上による効果を記載)。
29				「エ) 地域への貢献、地域の活性化」を修正(公園と地域を繋ぐ、多様な主体による参画の機会の確保について補足)。 併せてP9「本事業により得られたレッスン」を修正(現在のNPO団体による園内活動の礎となったこと)。		
30				歴史性とシラカシの自然的意味での価値が、この公園の柱であるので、インパクトのある書きぶりが欲しい。	修正	古代の大規模集落跡の遺跡や、関東地方の代表的な潜在自然植生であるシラカシ林が良好に保全されたことを補足。
31				(質問) 指定管理者の取組みが、利用者の増加につながっているのか。	修正	「指定管理者による利用促進の取組みもあって」と補足。
32	P7	1. 事業の投資効果 4) 事業の効果の発現状況	開園後のソフト面での運用にあたっての指定管理者からの意見、改善点、問題点について、県としてどう応えるのか、ということを含め意見等を自己評価として記載すべき。	追記	「今後は、地域が本公園に寄せた期待を、次世代に継承していくことが必要である」と追記。	

整理番号	対象事業	頁	該当箇所	審議時の意見・質問（趣旨）	種別	修正概要
33	No. 12 東高根森林公園 都市公園 整備事業	P8	2. その他 1) 事業実施による 環境の変化	（質問）シラカシ林について、事業によって生態系や生物多様性が損なわれたか。整備によって外来種が悪い影響を与えていないか現況を知りたい。	修正	シラカシ林への立入防止などによる保全措置を補足。
34		P9	対応方針（案）	（質問）未買収部分の現時点での今後の取扱いは。	追記	開発による消失の可能性が低いことから、当面は現状のままとする旨を追記。
35		P9	本事業により 得られたレッスン	—	修正	P7 事業効果の発現の記述を受け、「市街地における貴重なオープンスペースを確保し活用を図ることができた」に修正。
36				立地や周辺施設を活かした広報への取組みが必要では。川崎市民 150 万人のうち、20%程度の市民しか来ていないので、シティプロモーションや観光の視点で関係機関と連携して価値をアピールして利用者数を増やしていただきたい。	追記	今後の取組みとして、公園が有する価値の広範な発信、公園と地域を繋ぐ多様な主体との連携の充実、人的交流による地域活性化への貢献を追記。